

Pierrot Le Fou

海が

太陽と共に去った

永遠が

何が？

また見つかった！



un film de
JEAN-LUC GODARD

気狂いピエロ

JEAN-PAUL BELMOND
ANNA KARINA

優しくて
残酷

現実的で
現実的でなく

恐ろしくて
滑稽

夜のようで
昼のよう

月並みで
突飛

すばらしき
気狂いピエロ!



35歳のゴダールが、長編10作目で到達したヌーヴェル・ヴァーグ波高の頂点!

自由! 挑発! 疾走! 目くるめく引用と色彩の氾濫。饒舌なポエジーと息苦しいほどのロマンスム。

『勝手にしやがれ』以来の盟友である撮影のクタル、

ゴダールのミューズでありながらゴダールと離婚したばかりのカリーナ、

『勝手にしやがれ』で大スターになりこの映画でゴダールと決別することになるベルモンド。

各自がキャリアの臨界点で燃焼しつくした奇跡的傑作!

マスターボジ消失のため今回撮影ネガをデジタル化、新たな音ネガも復元したデジタル・リストア版。

寺尾次郎渾身の新訳!

STORY

フェルディナン(ベルモンド)は、金持ちの妻との生活に退屈し、逃げ出したい衝動に駆られていた。そんなある夜、夫婦がパーティに出かけるため、幼い娘のベビーシッターがやって来る。彼女はなんと、かつての恋人マリアンヌ(カリーナ)だった。パーティを抜け出し、1人で帰宅したフェルディナンは、彼女を車で送り、そのまま一夜を共にする。翌朝目覚めると、彼女の部屋に、首にハサミを突き立てられた男の死体が。驚く彼とは裏腹に、平然と朝食を作り歌うマリアンヌ。フェルディナンは、わけは後で話すという彼女と一緒に、着の身着のままパリを後にし、マリアンヌの兄がいる南仏へ向かう。お金のない2人は、ガソリン代を踏み倒したり、物語を語ってチップをもらったり、車を盗んだり。はては海岸の一軒家で、ロビンソン・クルーソーよろしく自給自足生活。フェルディナンは大満足だったが、マリアンヌは欲求不満を募らせ街に飛び出す。そこで出会った小男(カルービ)がまたもハサミで殺され、マリアンヌは姿を消す。フェルディナンはギャング2人組に捕まって、彼女の居場所を教えると拷問されるが、何も知らないと分かり解放される。マリアンヌを探し歩いたフェルディナンは、ようやく彼女を見つけたが…。



CAST フェルディナン・グリフォン(ピエロ):ジャン=ポール・ベルモンド Jean-Paul BELMONDO
マリアンヌ・ルノワール:アンナ・カリーナ Anna KARINA
フェルディナンの妻マリア:グラツィエラ・ガルヴァーニ Graziele GALVANI
マリアンヌの兄レド:ダーク・サンダース Dirk SANDERS アメリカ監督:サミュエル・フルー Samuel FULLER
小男:ジミー・カルービ Jimmy KAROUBI 港の男:レイモン・ドボス Raymond DEVOS
政治亡命者ラスロ・コヴァックス:ラスロ・サボ Laszlo SZABO
ギャング:ロジェ・デュトワ Roger DUTOIT ギャング:ハンス・メイヤー Hans MEYER
映画館の若い観客:ジャン=ピエール・レオー Jean-Pierre LEAUD

STAFF 監督・脚本・台詞:ジャン=リュック・ゴダール Jean-Luc GODARD
原作:ライオネル・ホワイト Lionel WHITE
製作:ジョルジュ・ドゥ・ボールガール Georges de BEAUREGARL、ディノ・デ・ラウレンティス Dino de LAURENTIIS
撮影:ラウール・クタル Raoul COUTARD 美術:ピエール・ギュフロフ Pierre GUFFROY
音楽:アントワヌ・デュアメル Antoine DUHAMEL



© StudioCanal 1965年/フランス・イタリア/105分 配給:オンリー・ハーツ 宣伝:佐々木理都

<http://onlyhearts.co.jp>

7月23日(土)より

7/23~ 14:50 | 18:50
8/ 6~ 12:00 | 16:30

特別鑑賞券1,500円(税込) 劇場窓口でお求めの方にオリジナル・ポストカードをプレゼント

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コマショップ左入

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com
各回入替・整理券制

